

令和7年度第1回「北海道オホーツク地域等公共交通活性化協議会」 議事録

日 時	令和7年(2025年)6月10日(火) 14:00~15:30
場 所	北見市端野町公民館(北見市端野町二区471番地11)
出席者	別添名簿のとおり
議 事	1 会長挨拶 開会に当たって、会長から挨拶。
	2 冒頭説明 事務局長から冒頭説明。 ・ 定足数の充足により会議が成立 ・ 資料および議事録は後日公表予定
	3 議事(1)報告事項ア「令和6年度事業報告」 資料1-1~1-5に基づき、事務局員から説明。 【質疑・意見】 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
	4 議事(1)報告事項イ「令和6年度収支決算」 資料2に基づき、次の事業について事務局員から説明。 ・ 収入の部は、予算額277万9千902円、決算額278万525円 ・ 支出の部は、予算額277万9千902円、決算額181万420円 ・ 収支差額97万105円は次年度に繰越 【質疑・意見】 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
	5 議事(1)報告事項ウ「監査報告」 資料3に基づき、監事(北海道高等学校PTA連合会北見支部長)から監査報告 ・ 監査を行った結果、歳入・歳出ともに適正に処理されていることを認める。
	6 議事(1)審議事項ア「規約及び規約別表の改正について」 資料4-1、4-2に基づき、事務局員から説明。 ・ 「地域公共交通計画の作成及び『実施』に関する事項」となっているところ、「地域公共交通計画の作成及び『変更』に関する事項」という文言に修正する。 ・ 委員の役職名変更に伴い、規約別表を修正する。 【質疑・意見】 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
	7 議事(2)審議事項イ「令和8年度地域間幹線系統確保維持計画及び令和7年度生活交通路線確保維持地域計画について」 資料5に基づき、事務局員から説明。 <u>令和8年度地域間幹線系統確保維持計画</u> ・ 確保・維持する地域間幹線系統の概要について

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産性向上の取組について</li> <li>・ 令和6年度及び令和8年度収支改善計画について（振り返り・策定） 令和7年度生活交通路線確保維持地域計画</li> <li>・ 生活交通路線確保維持計画（広域生活交通路線等）について</li> <li>・ 令和6年度及び令和7年度収支改善計画について（振り返り・策定）</li> </ul> <p>【質疑・意見】 <input type="checkbox"/>あり <input checked="" type="checkbox"/>なし</p>
8	<p>議事（2）審議事項ウ「北海道オホーツク地域等公共交通計画の改訂（案）について」</p> <p>資料6に基づき、事務局員から説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の期間について、バス補助年度との整合性を図り、半年延長し「令和10年9月末」までとする。</li> <li>・ バス路線再編及び計画策定に伴い、「北海道オホーツク地域等利便増進実施計画」の項目を追加する。</li> </ul> <p>【質疑・意見】 <input checked="" type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p> <p>■大空町</p> <p>P101の総合計画における公共交通に関する施策について、大空町では、今年度中に「第3次大空町総合計画（R8~）」を策定予定。「公共交通網の充実」の部分の記載内容に関わってくるので、次の計画改定に向けて情報共有したい。</p> <p>■事務局</p> <p>承知した。</p>
9	<p>議事（2）審議事項エ「北海道オホーツク地域等公共交通利便増進実施計画（案）について」</p> <p>資料7-1～7-4に基づき、事務局員から説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遠軽・湧別・紋別エリアと北見・美幌・津別エリアでバス路線再編を行う。</li> <li>・ あわせて、国の補助を最大限活用しながら利用者の方の利便性向上の取組を実施していくため、「利便増進実施計画」を各エリアで策定する。</li> </ul> <p>【質疑・意見】 <input type="checkbox"/>あり <input checked="" type="checkbox"/>なし</p>
10	<p>議事（2）審議事項オ「令和7年度事業計画（案）について」</p> <p>資料8-1、8-2に基づき、次の事業について事務局員から説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能な移動手段の確保に向けた検討・実施</li> <li>・ シームレスな乗り継ぎ環境の改善</li> <li>・ バス運転手確保事業 → 新規事業として、「移住体験+バス試乗モニターツアー」を実施</li> <li>・ 公共交通利用促進事業</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通関連情報オープン化事業</li> <li>・ 地域交通最適化実現事業</li> <li>・ 協議会の運営</li> </ul> <p>【質疑・意見】 <input checked="" type="checkbox"/>あり    <input type="checkbox"/>なし</p> <p>■北見市 「移住体験・バス試乗モニターツアー」について、実施場所はどこを考えているか。</p> <p>■事務局 現時点で、管内のどこかは決めていない。参加者の意向を踏まえて、自治体と調整の上、決定したい。</p> <p>■北見市 北見市以外の場所で開催する場合、こちらから地域おこし協力隊の提案など、開催場所に行って説明することが可能。</p> <p>■事務局 承知した。今後モニターツアーに関して、自治体に協力していただけることなどを照会する予定。</p>
11	<p>議事（2）審議事項カ「令和7年度収支予算（案）について」 資料9に基づき、事務局員から説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収入の部、支出の部は、予算額 387 万 111 円</li> </ul> <p>【質疑・意見】 <input type="checkbox"/>あり    <input checked="" type="checkbox"/>なし</p>
12	<p>その他 本庁交通企画課からの参考資料に基づき、事務局から説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次世代型交通プロモーション運行事業委託事業実施結果</li> <li>・ 第 20 回 JCOMM 札幌大会について</li> <li>・ 地域交通人材キャラバン in 北海道</li> </ul>
13	<p>全体総括</p> <p>■NPO 法人 まちづくり支援センター・為国代表理事（アドバイザー）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回振興局が、利便増進計画を作ったことは、本当にありがたい。</li> <li>・ 計画を作るだけでなく、今後どのように地域の人たちに利便があるものにするか、各自治体に協力していただきたい。</li> <li>・ 急にバス会社が、路線を撤退してしまう可能性もある。そうなったときに最後は自治体がやらざるを得ない場合が多い。</li> <li>・ とはいえ、福祉ではないので、個人個人の対応を全部やる必要はない。公共の範囲でどこまで維持できるかいうところに焦点当てて、生活圏を意識することが重要。</li> <li>・ 北海道は生活圏が大きい。このような場で、生活圏を中心に考えながら</li> </ul>

各自治体やバス事業者で話し合い、いかに協力し合うことができるかが重要。

■北見工業大学工学部 高橋教授（副会長）

- ・はじめに、この会議は「活性化協議会」なので、各自治体のための情報共有など、より活性化していただきたいと思う。
- ・先週、名寄市の物流シンポジウムで、課題解決のためには、部分ではなく、全体で考えなければいけないという話があった。バスも同じで、各市町村で公共交通計画を作る時代ではなく、広域で検討が必要である。
- ・そのため、今回オホーツク地域の利便性増進実施計画を立てた振興局には、大変感謝。
- ・これをただ作るだけではなく、どのように実施していくかが次の課題。連携する市町村、バス事業者でしっかりやらないと、この計画は上手くいかない。
- ・第1に、利用者にとって何が良くなったのかが重要。場所によっては利便性が落ちる人もいるかもしれないが、肝心なのは全体を見るということ。各市町村で自分の地域だけではなく外に目を向けて、利用者に話してほしい。
- ・第2に、先ほど情報提供があったモビリティ会議は、札幌で実施のため、ぜひ参加してほしい。
- ・新しいことをするためには、新しいことに挑戦している人から直接話を聞くのが一番だと思う。新しいものを取り入れるということに対して、抵抗することなく、情報を取り込んでいただきたい。
- ・最後に、振興局が大変素晴らしい取組をしていただいたが、報告だけではなく、それに対する成果・分析を説明してほしい。

14 会長まとめ

■会長

今後も目標達成状況を把握するため、指標値を測定し、継続的にモニタリングを実施していくこととなる。

各政策・事業の推進にあたっては、皆様の連携・協力が不可欠であることから、引き続きよろしくお願い申し上げます。

以 上